

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	文楽を知る・見る・楽しむ
事業主体 (連絡先)	文楽長野公演実行委員会 長野県北佐久郡御代田町馬瀬口 1579-173
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,449,786 円 (うち支援金 : 2,100,000 円)

事業内容

● 内容

ユネスコの文化遺産にも登録されている日本の伝統芸能「文楽」に触れ、知ってもらおう試み。文楽鑑賞と体験を融合させた「教室」の形式で学校等を訪問し公演を行う。文楽三業と言われる太夫、三味線、人形遣いのそれぞれの解説や、人形の体験などを実施し、文楽を身近に感じられる機会を作り、伝統芸能を体感してもらおう。また一般公演の開催で、文楽を観たことない人に知ってもらい、文化的に豊かな地域づくりを目指す。



【体験の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1) 小中学校7校とインターナショナルスクール1校の生徒計700名が文楽の鑑賞教室に参加した。
- 2) 大賀ホールでの一般公演には約470名が訪れた。多くの観客が初めて文楽を観たというアンケート結果が得られ、伝統芸能への興味を持ってもらう一助となった。

【目標・ねらい】

- ・日本の伝統芸能を子どもたち始め幅広く多くの人に知ってもらおう。
- ・文化度の高い地域づくり。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 1) 来年度以降も、引き続き学校での訪問公演等の活動を続けていくが、下記2つの方向性で継続と発展を目指し事業を進めていく。
 - ・公演実施校の増加
 - ・既実施校での定着と発展
- 2) 再来年度の一般公演を目指し、文楽に対する興味を幅広く持ってもらえるように活動する。

※自己評価 【B】

【理由】

- ・予定通りに公演を行うことができ、相当数の観客を得ることが出来た。文楽を知らない多くの人に知ってもらえるきっかけを作れた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある